

令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
地理・歴史	地理総合	必修	2	6	2	2
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等		
帝国046	地総901	高等学校 新地理総合		全国高等学校通信制教育研究会編「地理総合」		

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想する力や、それを効果的に説明・議論する力を養う。

学習内容及び方法

単元・学習項目	報告課題		面接指導	メディア視聴		試験
	回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	0	範囲・実施日
地理総合 (a)	第1部 地図でとらえる現代世界 1 地図と地理情報システム 世界地図としてメルカトル図法が広く用いられているが、正しいのは北極の角度であり、距離・面積・方位はほとんどの場合は正しくない。代わって正距方位図法登場したものの、中心以外の点では非常に厄介で使いにくい。実際の航空図においてはランベルト正角方位図法が使われる。各図法の長短を比較することが学習のポイントとなる。	1	【前期】 5月上旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ◎S1・S3  【後期】 ◎S1・S3	【NHK高校講座】 1 地球上の生活 2 GISと地図 3 グローバル化	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出 題
	2 結びつきを深める現代世界 第2部 国際理解と国際協力 1 世界の地形と人々の生活 地形においてはプレートテクトニクスに基づいての説明とはなるが、日本列島形成においては海溝における海洋プレートと大陸プレートの衝突が大きな意味を持つことを学ぶ。	2	【前期】 5月下旬  【後期】 11月中旬	【前期】 ◎S5・S7  【後期】 ◎S5・S7	【NHK高校講座】 4 大地形と生活 5 小地形と生活	【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)
	(承前)段丘が日本各地で見られるが、地震による隆起や氷河性海面変動による改訂の隆起等を具体例をあげて学ぶ。 2 世界の気候と人々の生活 気候は大気循環の一部としての、地球大気の動きの中で理解する。全地球的な問題として大気中の二酸化炭素が、地球温暖化の一因であることも学ぶ。	3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ◎S9・S11  【後期】 ◎S9・S11	【NHK高校講座】 6 気候の成因と生活 7 各気候の生活	【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
地理総合 (b)	第2部 国際理解と国際協力 1 世界の産業と人々の生活 人間生活、特に農業を自然の影響の中で理解する。乾燥地域では農業は盛んではなかったが、大規模灌漑農業の発達により、綿花・小麦などの機械化農業が発展した。農業の飛躍的な発展が国際経済のみならず、国際政治や民族問題に大きな影響を与えていることから、特に農業をダイナミックに学ぶ。	4	【前期】 5月上旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ◎S2・S4  【後期】 ◎S2・S4	【NHK高校講座】 10 生産する産業 11 現代の産業と生活 15 食糧問題	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出 題
	2 世界の言語・宗教と人々の生活 世界の宗教が閉鎖的集団の特定宗教である時代は終わった。世界的な人的交流が盛んになるに従い、宗教はそれぞれの特性を発揮する一方で、民族問題の大きな原因になっている。宗教は拡散して消滅するものではない。世界の主要な宗教の特性と現在の活動について学ぶ。	5	【前期】 5月下旬  【後期】 11月中旬	【前期】 ◎S6・S8  【後期】 ◎S6・S8	【NHK高校講座】 8 言語・宗教と生活	【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)
	3 歴史的背景と人々の生活 世界地誌の基礎を学ぶ。世界の画一化が急速に進んでいる中で、画一化されない各国地域の固有の歴史・民族・地政学的事情について考察する。また、EUやASEANのような地域連動についても学ぶ。我が国の地誌についても確認しておきたい。	6	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ◎S10・S12  【後期】 ◎S10・S12	【NHK高校講座】 9 歴史と生活	【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)

評価及び単位の修得に当たったの基準

【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。

【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。

- ① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。

備考欄

※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。

※ILC青森・ILC石川における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。

※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。地理総合には減免はありません。

令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等		科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
地理・歴史		地理探究	選択	3	6(a)+3(b)	2(a)+b(1)	2
発行者番号	教科書番号	教科書名			副教材等		
46帝国	地探一702	帝国書院 新詳地理探究			全通研「新詳地理探究」		
学習目標							
地理的な見方・考え方を働かせ、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な「資質・能力」を次のとおり育成する。 (1) 地理に関わる諸事象を系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調べ、まとめる技能を身に付ける。 (2) 地誌的な考察方法を身に付け、世界の諸地域ごとの課題の解決について考え、考えを効果的に説明し、議論する力を養う。 (3) 日本及び世界の地誌的課題について主体的に探究しようとする態度を養い、日本国民としての自覚と世界の諸地域の多様な文化を尊重しようとすることの大切さに ついての自覚を深める。							
学習内容及び方法							
学習内容	報告課題		面接指導		メディア視聴		試験
	回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	1	範囲・実施日	
地理探究 a	1 地形 大地形・小地形の特徴・成因・人間活動との関連を学ぶ。	1		【前期】 ① S2  【後期】 ① S2	【NHK高校講座】 地理探究1・2・3  【Lネットスクーリング】 地理探究a①地形1 地理探究a②地形2	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)	
	2 気候 気候の違いの要因・生態系や人間生活への影響を学ぶ。	2	【前期】 5月下旬  【後期】 11月上旬	【前期】 ① S4  【後期】 ① S4	【NHK高校講座】 地理探究4・5  【Lネットスクーリング】 地理探究a③気候1 地理探究a④気候2		
	3 日本の自然環境・地球環境問題 日本の自然関係の特徴、とくに自然災害との関連及び地球環境問題の解決に向けた取り組みについて学ぶ	3		【前期】 ② S6  【後期】 ② S6	【NHK高校講座】 地理探究6・7  【Lネットスクーリング】 地理探究a⑤ 日本の地形と気候		
	4 農林水産業・食糧問題 自然環境や社会条件に伴って変容してきた農林水産業と食糧問題について学ぶ。	4		【前期】 ② S9  【後期】 ② S9	【NHK高校講座】 地理探究9・10		
	5 工業・資源エネルギー問題 工業と資源・エネルギーとの関連、世界工業の展開について学ぶ。	5	【前期】 7月中旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ③ S11  【後期】 ③ S11	【NHK高校講座】 地理探究11・12・13		
	6 第三次産業・人口問題 産業構造の高度化と第三次産業の現状、及び世界各地の人口分布・年齢構成・移動の特徴を学ぶ。	6		【前期】 ③ S11  【後期】 ③ S11	【NHK高校講座】 地理探究14・15・19		
地理探究 b	1 アジア 地誌的観点から、中国・韓国・ASEAN諸国・西アジア・中央アジアの地域的な特色と課題を考える。	1		【前期】 ④ S3・S5  【後期】 ④ S3・5	【NHK高校講座】 地理探究28・29・30・31  【Lネットスクーリング】 地理探究b①中国・韓国 地理探究b②東南アジア・インド	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の内 容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)	
	2 アフリカ・欧州・ロシア 地誌的観点から、アフリカ・欧州・ロシアの地域的な特色と課題を考える。	2	【前期】 7月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤ S8・S10  【後期】 ⑤ S7・S9	【NHK高校講座】 地理探究32・33・34・35  【Lネットスクーリング】 地理探究b③西アジア・アフリカ		
	3 アメリカ合衆国・ラテンアメリカ・オーストラリア・ニュージーランド 地誌的観点から、アメリカ合衆国・ラテンアメリカ・オーストラリア・ニュージーランドの特色と課題を考える。	3		【前期】 ⑥ S12  【後期】 ⑥ S11	【NHK高校講座】 地理探究36・37・38		
評価及び単位の修得に当たっての基準							
【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。 【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。 ① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。							
備考欄							
※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。 ※ILC青森・ILC沖縄における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。 ※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。 ※正規の教育課程に含まれない教育活動(学習支援等)は、面接指導としては認定されません。							

## 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
地理歴史	歴史総合	必修	2	6	2	2
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等		
東書002	歴総901	歴史総合		歴史総合 令和8年度改訂版		

### 学習目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

### 学習内容及び方法

学習内容	報告課題		面接指導	メディア視聴		試験
	回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	0	範囲・実施日
歴史総合（a）	<b>序章 歴史の扉</b> <b>第1章 近代化と私たち</b> 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	1	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ①S1・S3  【後期】 ①S1・S3	【NHK高校講座】 ・なぜ歴史総合なのか ・18席のアジア ・産業革命と世界経済の変化	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第6回の内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日（土）～ 8月8日（土）  【後期テスト週間】 1月16日（土）～ 1月23日（土）
	<b>第1章 近代化と私たち</b> 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成 3節 世界の一体化と多様な近代化	2	【前期】 6月中旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ②S5・S8  【後期】 ②S5・S7	【NHK高校講座】 ・近代社会と国民国家 ・近代国家への道のり	
	<b>第1章 近代化と私たち</b> 3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題 <b>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月中旬	【前期】 ③S10・S12  【後期】 ③S9・S11	【NHK高校講座】 ・帝国主義の時代 ・20世紀はじめの世界 ・第一次世界大戦と戦後の世界 ・ソ連の登場とアメリカの繁栄	
歴史総合（b）	<b>第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b> 2節 第一次世界大戦と大衆社会 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	1	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ④S2・S4  【後期】 ④S2・S4	【NHK高校講座】 ・国際協調体制の変容 ・国際協調体制の瓦解 ・第二次世界大戦と戦後秩序の形成 ・戦後世界の船出とアジアの再編	
	<b>第3章 グローバル化と私たち</b> 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	2	【前期】 6月中旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤S6・S9  【後期】 ⑤S6・S8	【NHK高校講座】 ・冷戦の変化と脱植民地化 ・冷戦下の日本の政治と経済成長 ・ベトナム戦争と世界秩序の変容	
	<b>第3章 グローバル化と私たち</b> 3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月中旬	【前期】 ⑥S11  【後期】 ⑥S10・S12	【NHK高校講座】 ・石油危機とアジアの経済発展 ・冷戦の終結 ・グローバル化とこれからの世界 ・現代的な諸課題の形成と展望	

### 評価及び単位の修得に当たっての基準

【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。

【単位認定】単位の認定は、学期末（9月・3月）に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。

- ① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。

### 備考欄

※「面接指導」の①～⑥は取り扱った学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。

※ILC青森・ILC沖繩における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。

※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。

※正規の教育課程に含まれない教育活動（学習支援等）は、面接指導として認定されません。

# 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
地歴	日本史探究	選択	3	9	3	2
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等		
東書2	日探701	日本史探究		全国高等学校通信制教育研究会編「日本史探究」		

## 学習目標

- 歴史的事象の歴史的背景が考えられ、他言語で書かれた資料の正確な意味の理解を求め、広い視野に立脚し、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての必要な資質としての「責任」能力を育成することを目指す。
- (1) 切磋の意欲を大切にしながら、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を確実に習得する。
- (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、互議の精神を大切にしながら、歴史に見られる課題の解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国やその文化に対する理解を深め、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者としての必要な資質としての「責任」能力を育成することを目指す。

## 学習内容及び方法

	学習内容	報告課題		面接指導		メディア視聴		試験
		回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	1	範囲・実施日	
日本史探究 (a)	過去に生きた人々と対話する 第1編 先史・古代の日本と東アジア ○第1章 先史社会の生活と文化 ○第2章 歴史資料と先史・古代の展望	1	【前期】 5月上旬 【後期】 10月下旬	【前期】 ① S1・S3 【後期】 ① S1・S3	【NHK高校講座+J11:K18座】 ・原始社会の生活と文化 ・弥生文化と小国家の形成	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第6回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)		
	第1編 先史・古代の日本と東アジア ○第3章 古代社会の形成と展開	2	【前期】 5月中旬 【後期】 11月中旬	【前期】 ① S1・S3 【後期】 ① S1・S3	【NHK高校講座】 ・大和政権と古墳文化 ・飛鳥の朝廷と律令国家の形成 ・平城京と天平文化 ・平安遷都と律令制の変容 ・貴族社会と摂関政治 【Lネットスクーリング】 ・貴族社会の誕生			
	第2編 中世の日本と世界 ○第1章 中世社会の成立 ○第2章 歴史資料と中世の展望	3	【前期】 5月下旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ② S5・S8 【後期】 ② S5・S7	【NHK高校講座】 ・院政と荘園 ・平氏政権の登場 ・摂関政治・武家社会の形成			
	第2編 中世の日本と世界 ○第3章 中世社会の展開	4	【前期】 6月中旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ② S5・S8 【後期】 ② S5・S7	【NHK高校講座】 ・鎌倉幕府の誕生 ・執権による政治 ・モンゴル襲来と社会の変容 ・室町幕府の創設 ・室町時代の交易と文化 【Lネットスクーリング】 ・室町幕府			
	第3編 近世の日本と世界 ○第1章 近世社会の成立 ○第2章 歴史資料と近世の展望	5	【前期】 6月下旬 【後期】 12月上旬	【前期】 ③ S9・S11 【後期】 ③ S9・S11	【NHK高校講座】 ・下剋上と戦国大名 ・鉄砲の伝承 ・豊臣秀吉の全国統一 ・江戸幕府と大正・朝廷 ・キリスト教禁止と鎖国 【Lネットスクーリング】 ・江戸幕府の成立			
	第3編 近世の日本と世界 ○第3章 近世社会の展開	6	【前期】 7月上旬 【後期】 12月中旬	【前期】 ③ S9・S11 【後期】 ③ S9・S11	【NHK高校講座】 ・幕府政治の進展と元禄文化 ・江戸時代の経済と産業の発達 ・幕藩体制の動揺と政治改革 ・幕藩体制の危機 ・新しい学問の形成と化政文化 【Lネットスクーリング】 ・江戸時代の始まりと元禄文化			
日本史探究 (b)	第4編 近現代の地域・日本と世界 ○第1章 近代社会の幕開け ○第2章 歴史資料と近現代の展望 ○第3章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 ・1節 近代の制度的導入と新しい国際関係 ・2節 国民国家と資本主義の成立	7	【前期】 5月中旬 【後期】 10月下旬	【前期】 ④ S2・S4 【後期】 ④ S2・S4	【NHK高校講座】 ・開国と開港 ・幕府の滅亡 ・明治維新 ・立憲国家を目指して ・憲法制定 ・日清戦争、日露戦争 【Lネットスクーリング】 ・明治期の内外情勢と立憲政治	【試験範囲】 「報告課題」 第7回～第9回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)		
	第4編 近現代の地域・日本と世界 ○第3章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 ・3節 両大戦間期の日本 ・4節 第二次世界大戦と日本 ・5節 占領と改革	8	【前期】 6月中旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤ S6・S9 【後期】 ⑤ S6・S8	【NHK高校講座】 ・大正デモクラシー ・新たな国際秩序 ・揺れ動く日本の社会と経済 ・日中戦争、太平洋戦争 ・占領と国内改革 【Lネットスクーリング】 ・第一次世界大戦とワシントン体制 ・太平洋戦争			
	第4編 近現代の地域・日本と世界 ○第3章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 ・6節 両大戦間期の日本 ・7節 第二次世界大戦と日本 ・8節 占領と改革 ○第4章 現代の日本の課題の探究 ○歴史に学ぶ	9	【前期】 7月上旬 【後期】 12月中旬	【前期】 ⑥ S11 【後期】 ⑥ S10・S12	【NHK高校講座】 ・国際社会への復帰と高度経済成長 ・激変する世界と日本 【Lネットスクーリング】 ・経済の高度成長 ・江戸前期から昭和までの主な人物			

## 評価及び単位の修得に当たっての基準

【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評価を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。

【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。

- ① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。

## 備考欄

※「面接指導」の①～⑥は取り扱った学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。

※ILC青森・ILC沖縄における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。

※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。

※正規の教育課程に含まれない教育活動(学習支援等)は、面接指導として認定されません。

## 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
地歴	世界史探究	選択	3	9	3	2
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等		
東書2	世探701	世界史探究		全国高等学校通信制教育研究会編「世界史探究」		
学習目標						
<p>社会的な見方・考え方を働かせ、他者と磨き合うとする互譲・切磋の意欲をもち、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 切磋の意欲を大切にしながら、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、互譲の精神を大切にしながら、歴史に見られる課題の解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国やその文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。</p>						
学習内容及び方法						
学習内容		報告課題		面接指導		試験
		回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	Ⅰ
世界史探究 (a)	序章 世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 ○第1章 古代文明の出現 ○第2章 西アジアと地中海周辺 ○第3章 南アジア	1	【前期】 5月上旬 【後期】 10月下旬	【前期】 ① S1・S3 【後期】 ① S1・S3	【NHK高校講座】 ・世界史へのまなざし ・古代オリエント ・古代ギリシア・ローマと地中海 ・古代の南アジア 【Lネットスクーリング】 ・地球と人類の始まり ・ローマ帝国と地中海世界	【試験範囲】 第1回～第6回の 内容を中心に出 題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
	第1編 諸地域の歴史的特質 ○第4章 東南アジア ○第5章 東アジアと中央ユーラシア	2	【前期】 5月中旬 【後期】 11月中旬	【前期】 ① S1・S3 【後期】 ① S1・S3	【NHK高校講座】 ・古代の東南アジア ・古代の中国と中央ユーラシア 【Lネットスクーリング】 ・中国文明の形成	
	第2編 諸地域の交流と再編 ○第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ ○第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄	3	【前期】 5月下旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ② S5・S7 【後期】 ② S5・S7	【NHK高校講座】 ・古代文明の特質 ・西アジアのイスラーム政権 【Lネットスクーリング】 ・イスラーム国家の成立	
	第2編 諸地域の交流と再編 ○第8章 中世ヨーロッパ ○第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	4	【前期】 6月中旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ② S5・S7 【後期】 ② S5・S7	【NHK高校講座】 ・西ヨーロッパの成立と変容 ・東ヨーロッパの成立 ・宋とモンゴル帝国 【Lネットスクーリング】 ・北方諸民族と宋	
	第2編 諸地域の交流と再編 ○第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア ○第11章 大交易時代と世界の一体化	5	【前期】 6月下旬 【後期】 12月上旬	【前期】 ③ S9・S11 【後期】 ③ S9・S11	【NHK高校講座】 ・大交易時代 【Lネットスクーリング】 ・東南アジアの大航海時代 ・大航海時代	
	第2編 諸地域の交流と再編 ○第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 ○第13章 主権国家体制の形成と交易の拡大	6	【前期】 7月上旬 【後期】 12月中旬	【前期】 ③ S9・S11 【後期】 ③ S9・S11	・高アジアと東アジアの諸帝国 ・清とユーラシア ・朝鮮王朝 ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の形成 ・国際商業と大西洋三角貿易 ・諸地域の交流と再編を学んで 【Lネットスクーリング】 ・大航海時代 ・近代主権国家の成立	
世界史探究 (b)	第3編 一体化していく世界 ○第14章 国民国家と近代社会の形成 ○第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 ○第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	7	【前期】 5月中旬 【後期】 10月下旬	【前期】 ④ S2・S4 【後期】 ④ S2・S4	・産業革命と社会問題 ・アメリカ合衆国の独立とフランス革命 ・ヨーロッパの国民国家 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀の西・南・東南アジア諸地域 ・19世紀の東南アジア諸地域 ・帝国主義と世界分割 ・アメリカ合衆国の独立 ・東アジアの変動	
	第3編 一体化していく世界 ○第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域 ○第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 ○第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア	8	【前期】 6月中旬 【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤ S6・S8 【後期】 ⑤ S6・S8	【NHK高校講座】 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期の世界諸地域 ・大恐慌と第二次世界大戦 【Lネットスクーリング】 ・第一次世界大戦 ・第二次世界大戦	
	第4編 グローバル化と地球的課題 ○第20章 冷戦の世界化と国際制度 ○第21章 冷戦の終結と経済のグローバル化 ○第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	9	【前期】 7月上旬 【後期】 12月中旬	【前期】 ⑥ S10・S12 【後期】 ⑥ S10・S12	【NHK高校講座】 ・現代のグローバリズム ・冷戦後の成立と展開 ・アジア・アフリカの脱植民地化 ・東アジアの現代史 ・ロシア帝国から現代の中華 ・ヨーロッパの現代史とEU ・合衆国とラテンアメリカの現代史 ・冷戦後の現代史と冷戦終結 ・経済のグローバル化 ・中国の台頭と多極化 ・地球の課題と世界史	
評価及び単位の修得に当たったの基準						
<p>【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。</p> <p>【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。</p> <p>① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。</p>						
備考欄						
<p>※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。</p> <p>※ILC青森・ILC沖繩における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。</p> <p>※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。</p>						

## 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数	
公民	公共	必履修	2	6	2	2	
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等			
2東書	公共901	公共		全国高等学校通信制教育研究会編「公共」			
学習目標							
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と磨き合おうとする互譲・切磋の意欲をもち、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。							
(1) 切磋の意欲を大切にしながら現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる基礎的・基本的な知識や概念、理論を確実に習得する。							
(2) 幸福・正義・公正などについて事実を基に多面的・多角的に考察し、互譲の精神を大切にしながら合意形成や社会参画を図る素養を身につける。							
(3) 自己の人生観・世界観・価値観を形成し、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国国民が協力し合うことの大切さについて							
学習内容及び方法							
単元・学習項目	報告課題		面接指導	メディア視聴		試験	
	回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	0	範囲・実施日	
公民 (a)	<b>第1部 公共のとびら</b> 【第1章】青年期を生きる私たち 【第2章】他者とともに生きる人間としてのあり方 【第3章】公共的な空間における倫理	1	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ①S1・S3  【後期】 ①S1・S3	【NHK高校講座】 ・社会のなかの自己 ・共に生きる倫理  【Lネットスクーリング】 ・ガイダンス ・青年期と自己形成の課題	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出 題	
	【第4章】公共的な空間における基本的原理  <b>第2部 自立した主体として社会に参画する私たち</b> 【第1章】民主政治と私たち <テーマ1>民主政治と政治参加	2	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ②S5・S7  【後期】 ②S5・S7	【NHK高校講座】 ・私たちの民主的な社会 ・民主政治と政治参加① ・民主政治と政治参加②  【Lネットスクーリング】 ・現代の世界と宗教 ・社会契約説		【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)
	【第2章】法の働きと私たち <テーマ2>法や規範の意義と役割 <テーマ3>市民生活と私法 <テーマ4>国民の司法参加	3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ③S9・S11  【後期】 ③S9・S11	【NHK高校講座】 ・法や規範の意義と役割 ・市民生活と私法 ・国民の司法参加  【Lネットスクーリング】 ・日本の選挙制度と課題 ・法と社会規範の役割		【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
	【第3章】経済社会で生きる私たち <テーマ5>現代の経済と市場 <テーマ6>市場経済における金融の働き <テーマ7>財政の役割と持続可能な社会保障制度	4	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ④S2・S4  【後期】 ④S2・S4	【NHK高校講座】 ・現代の経済と市場 ・市場経済における金融の働き ・財政の役割と持続可能な社会保障制度 【Lネットスクーリング】 ・資本主義の歴史と経済思想	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出 題	
	【第4章】私たちの職業生活 <テーマ8>働くことの意義と職業選択 <テーマ9>労働者の権利と雇用・労働問題	5	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤S6・S8  【後期】 ⑤S6・S8	【NHK高校講座】 ・働くことの意義と職業選択 ・労働者の権利と雇用・労働問題 ・国際社会のルールとしくみ ・国際社会と平和主義		【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)
	<テーマ12>国際平和への課題 <テーマ13>グローバル化する国際経済  <b>第3部 持続可能な社会づくりに参画するために</b> <設定課題>	6	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ⑥S10・S12  【後期】 ⑥S10・S12	【NHK高校講座】 ・国際平和への課題 ・グローバル化する国際経済 ・探究活動①～③		【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
評価及び単位の修得に当たっての基準							
【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。							
【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。							
① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。							
備考欄							
※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容ですので、囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。							
※ILC青森・ILC沖縄における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。							
※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。							
※正規の教育課程に含まれない教育活動(学習支援等)は、面接指導としては認定されません。							

## 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数
公民	倫理	選択	2	6	2	2
発行者番号	教科書番号	教科書名		副教材等		
2東書	倫理701	倫理		全国高等学校通信制教育研究会編「倫理」		
学習目標						
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と磨き合うとする互譲・切磋の意欲をもち、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 切磋の意欲を大切にしながら古今東西の幅広い知的蓄積を通して、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方について深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、互譲の精神を大切にしながら論理的に思考し、説明したり対話したりする力を養う。</p> <p>(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。</p>						
学習内容及び方法						
単元・学習項目	報告課題		面接指導	メディア視聴		試験
	回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	0	範囲・実施日
倫理 (a) 第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方 【第1章】人間の心のあり方 <1節>人間とは何か <2節>人間の心の働き 【第2章】さまざまな人生観・倫理観・世界観 I <1節>哲学すること <2節>ギリシャの思想 <3節>宗教と社会 <4節>キリスト教 <5節>イスラーム <6節>仏教 <7節>中国の思想 <8節>芸術	1	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ①S1・S3  【後期】 ①S1・S3	【NHK高校講座】 ・人間とは ・人間の心のはたらき ・哲学すること ・ヘレニズム時代の思想 【Lネットスクーリング】 ・ガイダンス ・ソクラテスとソフィスト		【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
	2	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ②S5・S7  【後期】 ②S5・S7	【NHK高校講座】 ・旧約聖書の世界観 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・儒家思想 【Lネットスクーリング】 ・宗教と社会		
	3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ③S9・S11  【後期】 ③S9・S11	【NHK高校講座】 ・人間尊重の時代へ ・合理的精神の確立 ・近代的な社会や国家の成立 ・人間の尊厳		
倫理 (b) <4節>社会変革の思想 <5節>理性への疑念 <6節>人間観・言語観の問い直し <7節>他者・自然とのかかわり 【第4章】国際社会に生きる日本人としての自覚 <1節>日本人としての精神風土・他 <2節>仏教と日本人の思想形成 <3節>儒教と日本人の思想形成 <4節>国学の思想 <5節>庶民の思想 <6節>西洋思想と日本人の近代化 <7節>国際社会に生きる日本人の自覚 B 現代の諸課題と倫理 <設定課題>	4	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ④S2・S4  【後期】 ④S2・S4	【NHK高校講座】 ・民主社会の倫理 ・社会変革の倫理 ・本来の自己を求めて ・存在への問い ・人間と言語をどう考えるか		【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
	5	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤S6・S8  【後期】 ⑤S6・S8	【NHK高校講座】 ・人間と社会のゆくえ ・日本人のものの考え方 ・日本人の宗教観と倫理観 ・仏教の受容と展開 【Lネットスクーリング】 ・現代を生きる人間の倫理		
	6	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ⑥S10・S12  【後期】 ⑥S10・S12	【NHK高校講座】 ・江戸時代の日本思想 ・西洋思想との出会い ・日本の独創的な思想 ・考えてみよう対話してみよう 【Lネットスクーリング】 ・西洋思想と日本人の近代化		
評価及び単位の修得に当たっての基準						
<p>【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。</p> <p>【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。</p> <p>① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。</p>						
備考欄						
<p>※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容です。囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。</p> <p>※ILC青森・ILC沖縄における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。</p> <p>※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。</p> <p>※正規の教育課程に含まれない教育活動(学習支援等)は、面接指導としては認定されません。</p>						

## 令和8年度 仙台育英学園高等学校ILC 通信教育実施計画

教科等	科目	必・選択	単位数	報告課題数	面接指導数	試験回数	
公民	政治・経済	選択	2	6	2	2	
発行者番号	教科書番号	教科書名			副教材等		
2東書	政経701	政治・経済			全国高等学校通信制教育研究会編「政治・経済」		
学習目標							
<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と磨き合わせる互譲・切磋の意欲をもち、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 切磋の意欲を大切にしながら現実社会の諸課題の解決に向けて手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念・理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、互譲の精神を大切にしながら公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。</p>							
学習内容及び方法							
単元・学習項目		報告課題		面接指導	メディア視聴		試験
		回	提出期限	面接指導実施日	減免回数	0	範囲・実施日
政治・経済 (a)	<b>第1編 現代日本の政治と経済</b> <b>【第1章】現代日本の政治</b> <1節>民主政治の基本原則 <2節>日本国憲法の基本原則		1	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ①S1・S3  【後期】 ①S1・S3	【NHK高校講座】 ・政治経済の学び方 ・民主政治の成立 ・日本国憲法の制定 ・平和主義 【Lネットスクーリング】 ・ガイダンス ・社会契約説	【試験範囲】 「報告課題」 第1回～第3回の 内容を中心に出題  【前期テスト週間】 8月1日(土) ～ 8月8日(土)  【後期テスト週間】 1月16日(土) ～ 1月23日(土)
	<3節>日本の政治機構 <4節>現代政治の特質と課題		2	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ②S5・S8  【後期】 ②S5・S7	【NHK高校講座】 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・選挙と政治意識 【Lネットスクーリング】 ・憲法改正 ・政教分離の原則 ・選挙と政治意識	
	<b>【第2章】現代日本の経済</b> <1節>現代の資本主義経済 <2節>現代経済のしくみ		3	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ③S10・S12  【後期】 ③S9・S11	【NHK高校講座】 ・現代の資本主義経済 ・市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・財政のしくみと機能 【Lネットスクーリング】 ・投機と投資	
政治・経済 (b)	<3節>日本経済の発展と現状 <4節>福祉社会と日本経済の課題  <b>【第3章】現代日本の諸課題</b> <設定課題>		4	【前期】 5月中旬  【後期】 10月下旬	【前期】 ④S2・S4  【後期】 ④S2・S4	【NHK高校講座】 ・戦後日本経済の発展 ・日本経済の現状 ・農業と食糧問題 ・雇用と労働問題 ・防災と安全・安心な社会の実現 【Lネットスクーリング】 ・バブル経済とその崩壊	
	<b>第2編 グローバル化する国際社会</b>  <b>【第1章】現代の国際政治</b> <1節>国際政治のしくみ <2節>複雑化する国際政治と日本		5	【前期】 6月上旬  【後期】 11月下旬	【前期】 ⑤S6・S9  【後期】 ⑤S6・S8	【NHK高校講座】 ・国際社会の特質 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・軍縮の動向と課題 【Lネットスクーリング】 ・勢力均衡と集団安全保障	
	<b>【第2章】現代の国際政治</b> <1節>国民経済と国際経済 <2節>世界経済の現状と課題  <b>【第3章】国際社会の諸課題</b> <設定課題>		6	【前期】 7月上旬  【後期】 12月上旬	【前期】 ⑥S11  【後期】 ⑥S10・S12	【NHK高校講座】 ・貿易と国際収支 ・発展途上国の経済 ・グローバル化する世界経済 ・持続可能な社会の実現 【Lネットスクーリング】 ・為替相場と外国為替市場	
評価及び単位の修得に当たったの基準							
<p>【評価】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、それぞれ「A・B・C」の3段階で評価を行い、その組み合わせによって5段階評定を算出します。各科目の評価基準については、「単元シラバス」をご参照ください。</p> <p>【単位認定】単位の認定は、学期末(9月・3月)に行います。次の3つの条件をすべて満たした場合に、単位が認定されます。</p> <p>① 所定の報告課題を提出し、合格すること。② 所定の面接時数を充足すること。③ 学期末考査に合格すること。</p>							
備考欄							
<p>※「面接指導」の①～⑥は取り扱う学習内容を示しています。囲み数字が同じであれば、同じ学習内容です。囲み数字が重複しないように面接指導に出席しましょう。</p> <p>※ILC青森・ILC沖縄における面接指導の実施日等については、各ILCの年間行事計画および時間割をご参照ください。</p> <p>※多様なメディアを活用した学習による面接指導の減免を希望する場合は、事前に各教科担当へ相談し、視聴範囲等を確認してください。</p> <p>※正規の教育課程に含まれない教育活動(学習支援等)は、面接指導としては認定されません。</p>							